

製品名: HSF-27 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12225**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	CDK5RAP3
別名	CDK5RAP3; IC53; MSTP016; OK/SW-cl.114; PP1553; CDK5 regulatory subunit-associated protein 3; CDK5 activator-binding protein C53; Protein HSF-27
遺伝子 ID	80279.0
SwissProt ID	Q96JB5
免疫原	抗血清はヒト CDK5RAP3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 341-390

背景

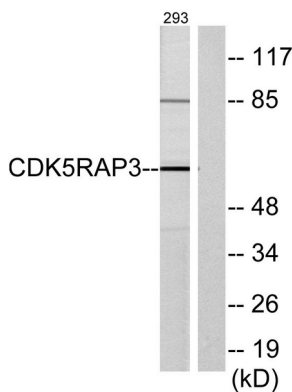
この遺伝子は、転写調節および細胞周期進行を制御するシグナル伝達経路で機能することが報告されているタンパク質をコードして

います。腫瘍形成および転移において役割を果たす可能性があります。この遺伝子の擬似遺伝子は 20 番染色体長腕に位置しています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2013 年 5 月],機能: CDK5 活性の潜在的調節因子。細胞増殖に関与している可能性があります。CDK5R1 との相互作用を介して CDK5 活性を制御します。PTM: in vitro で CDK5 によってリン酸化されます。類似性: CDK5RAP3 ファミリーに属します。サブユニット: CDK5R1 と相互作用します。この相互作用は、CDK5R1 と CDK5RAP3 の結合によって阻害されます (類似性による)。腸管腺ウイルス血清型 41 の繊維タンパク質と相互作用する。組織特異性: 普遍的。心臓、脳、胎盤、肺、肝臓、骨格筋、腎臓、膵臓に発現する。アイソフォーム 3 は腎臓、肝臓、骨格筋、胎盤に発現する。、

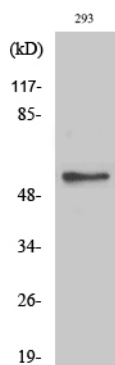
研究分野

細胞生物学

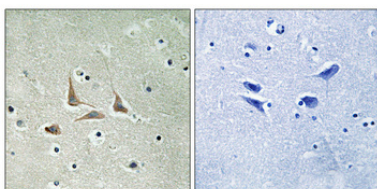
画像データ



CDK5RAP3 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



HSF-27 ポリクローナル抗体 (1: 2000 希釈) を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高压高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。